

東京丸の内クラブ 第10回定例会 議事録
2017年11月15日分

1 開催概要

日時： 2017年11月15日（水） 11:45～13:15
場所： センチュリーコート丸の内 コンパートメントルーム

2 参加者 （参加者名簿参照）

国際ロータリー第 2580 地区より	6 名
ゲスト参加者	1 名
東京丸の内クラブ	14 名（うち事務局 1 名）
合計	21 名

3 議事内容 （司会進行：朴善子）

(1) 議長挨拶（尾崎由比子）

国際ロータリー申請には25名の会員登録と、スポンサークラブが必要。会員数がまだ満たないので、次回12月6日もゲスト招待日としたい。ロータリークラブの理念に賛同して私共にご協力いただけるような方がいらしたら、お連れ頂きたい。現在女性が多数なので、ぜひ男性をお誘い頂けたらと思う。

(2) 東京丸の内クラブメンバー自己紹介（参加者名簿参照）

(3) ゲスト参加者自己紹介（参加者名簿参照）

(4) 第2580地区からのゲストのお話

▼ 上山昭治直前ガバナー、拡大増強委員長

第2580地区（69クラブ、会員約3,000名）では現在会員数が減少傾向にある。私は直前ガバナーとして拡大増強委員長も務めているが、拡大増強の意味は会員を増やすことのほかに新しいクラブを創設することがある。この丸の内クラブは、皆さんが自主的に集まって新クラブ創立を目指しており、私も大いに期待している。当クラブが素晴らしいロータリークラブになることを願っているし、それが私の役目でもある。

ここ数か月みなさんとお会いして、どこに親クラブになってもらおうか考えた結果、同じ千代田区のクラブで、まだ子クラブをもっていない「お茶の水ロータリークラブ」を候補に挙げた。吉田ガバナーと私の連名で、お茶の水クラブにスポンサー（親）クラブを引き受けていただけないか、文書をもってお願いをした。牛島会長にはぜひ丸の内の熱心な雰囲気を知っていただき、お茶の水の皆さんに伝えて頂きたい。

▼ 土居岩生地区研修サブリーダー

新しいロータリークラブを設立する時、新クラブにはそれなりの人がロータリーの理念を心得た上で入会するのか、事前に研修をすることになっており、その窓口が鈴木さんと私である。ロータリーは、異業種交流会のように、そこで商売をやろうとして入会するようなクラブではない。そのような人はそういう先に行って欲しい。ロータリークラブは奉仕の理念が基本。奉仕というのは、相手のことを思って、相手のために尽くすことである。

国際ロータリーに申請をする上で、スポンサークラブは必要である。丸の内クラブについては、まだ親になってくれる先がない。今日は、ガバナーと上山さんがお願いの文書を出して、お茶の水の方々に来ていただいた。今までこのようなことは行われたことがない。親クラブが決まれば、例会の回数とか、開催曜日について注文が出てくるだろうと思う。

▼ 鈴木隆雄地区研修サブリーダー

ロータリークラブでどうして研修が行われるかということ、「せっかくロータリークラブに入ったのだから、皆で同じ考えをもって、同じ方向に進みましょう」ということ。ロータリーは民主主義。民主主義の基本は多数決。もちろん少数意見があってもいいが、それは時間とそれ相応な手続きをかけて主張していけばいいと思う。

▼ 牛島聡お茶の水ロータリークラブ会長

東京お茶の水ロータリークラブは、神田中心でビジネスをやっている人たちのクラブで、親クラブは神田ロータリー。東京ロータリークラブの孫クラブにあたる。私は24代目会長で、来年設立25周年を迎える。親クラブにというお話をいただいたので、まずは今日、皆さんの顔を拝見しに来た。

私自身は広告会社をやりながら、ロータリーの入門書を出している。

▼ 青木隆幸お茶の水ロータリークラブ幹事

今日はよろしくお願いします。

(5) 入会申込書と個人情報の扱いについて（事務局より、別紙参照）

(6) 事務連絡（事務局）

会員の皆さんには、定例会出欠の連絡を金曜日中に **Facebook** グループページにお願いしたい。お料理のキャンセルは月曜日の午前中までで、それ以降は全額負担。料理は、アレルギー対応などもできるので事務局までお知らせ願いたい。招待されるゲストの方にもこの旨お伝えください。

以 上